

I 類 論文課題

【農業土木】

世界的な人口増加や新興国の経済成長等により食料需要が増加する一方で、気候変動による大規模な不作等が食料供給に影響を及ぼす可能性があり、中長期的には需給のひっ迫が懸念されています。加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックに続き、ウクライナ情勢や円安などの影響による穀物・農業生産資材価格の高騰、原料供給国からの輸出の停滞など、食料の安定供給を脅かす事態が発生しています。国内においても、農業従事者の高齢化や担い手の減少といった課題がある中、食料安全保障上のリスクが増しており、私たちの生活に欠かせない「食」への影響が懸念されています。

このような状況を鑑み、国は、「食料安全保障強化政策大綱」において、継続的に講ずべき対策を明らかにしています。

例えば、水田政策では、需要に応じた生産を基本としつつ、米や米粉用米の需要拡大、海外依存度の高い麦・大豆等の増産・本作化を進めています。また、これに合わせ、作付けの団地化、ブロックローテーション、スマート技術の導入、ほ場の大区画化などにより生産性の向上を図ることとしています。

我が国の食料をめぐる国内外の状況が刻々と変化する中、人口500万人を超える大消費地を有する福岡県において、今後、本県の農業・農村が持続的に発展するために必要な取組や支援、「農業土木」の技術者に求められる役割について、あなたの考えを述べなさい。